

令和五年度入学者選抜試験問題 国語

注意1 解答は、答案用紙の指定欄に記入しなさい。

- 2 受験番号を答案用紙その一、その二の指定欄に記入しなさい。
- 3 開始の指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 4 この問題冊子は、9ページまであります。問題冊子・答案用紙の印刷の不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 この問題冊子は、試験終了後持ち帰ってください。

— 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

鉄道路線に端から端まで全部乗ることを「完全乗車」、略して「完乗^{かんじょう}」という。私も全国のJRを20年かけて完乗した。なぜそんなに鉄道が好きなのかとよく聞かれる。カタンカタンという心地よいリズムに揺られながら、缶ビール片手にほろ酔いで本のページをめくる。ふと窓の外に目をやると、いつもと違う風景が流れていく。自分のあり方をナイセイ^aすることも少なくない。ゆっくり本を読み思考を深める機会が減りがちな現代では、ぜいたくな時間だ。

他にもミリヨク^bがある。各地の地方鉄道を取材で訪れて感じるのは、自動車や飛行機と比べて地域に密接で、その土地の風土や歴史が宿っていること。過去にさかのぼると、先人の汗と涙に触れることが多い。かつて鉄道を敷くことは一大事業だった。地元の名士が財をなげうった、住民がお金を出し合った——。他の地域とつながりたい、キョウド^cを発展させたいという強い願いもあった。

私が暮らす島根県で2018年3月末、JR三江線が運行を終えた。4月1日、踏切と駅に「立ち入り禁止」の真新しいカンバ^dンが立ち、地図から路線と駅名が消えた。歴史までもが消えたかのようで「こうなる前に一住民として何かできることはなかったのか」という苦い思いがこみあげた。「あつたらよかった」。そんな言葉を鉄道がなくなると聞くが、そのときはもう遅いのだ。

「地域の足を残してほしい」

よく耳にする「地域の声」だが、この訴えだけでは限界にきているのではないかと感じている。

コロナ禍によるJR各社の赤字に端を発する形で、今、地方路線のあり方をめぐる議論が活発化している。ただ、地方路線の利用者はコロナ以前から減少していた。厳しい言い方になってしまうが、車社会で人口減少が進む地方では、もはや大量輸送可能な移動手段としての役割は終えたというのが現実ではないだろうか。その現実を目を背け、「地域の足を残せ」と訴えるだけでは説得力を持ちにくい。利用者の少なさが「地域の足」になり得ていない証しになり、^①数の論理で逆に廃止の根拠になってしまう

というジレンマに陥りかねない。

② ではどうすればいいのか。条件や状況の違いを踏まえたうえでも示唆に富むのが、地元と協力してさまざまな取り組みを展開する地方鉄道だろう。キーワードは「残す」ではなく「生かす」だ。演奏会やバー、僧侶による読経、絵手紙教室といった利用者の希望を、駅や列車で実現させてにぎわう兵庫県の北条鉄道。香川県の高松琴平電気鉄道では、地元の温泉の入浴券などがセットになったお得な切符などで、地元企業とともに稼ぐ仕組みをつくった。単なる移動手段を超えた新しい価値を生み出している。

「信頼関係をもって地域に根付いていく必要がある」との北条鉄道役員の言葉が印象に残る。こうした努力もあり、コロナ前の19年度、この二つの鉄道は、前年度より、さらには10年前よりも乗客数を増やしていた。鉄道を地域の「お荷物」ではなく資産と位置付けて「生かす」ことが、結果として「残す」ことにつながっている事例とも言えるかもしれない。

③ とはいえ、コロナ禍で一企業や地域の努力だけでなんとかできる段階は過ぎ、今は社会全体で議論する段階に来ているのも確かだろう。

参考になるのが、鉄道の現代的価値をとらえ直す海外の潮流だ。「フライトシェアム」、日本語に訳せば「飛び恥」は、気候変動への危機感から環境負荷が高い飛行機を避け、鉄道など他の利用を勧める運動を指す。原油高もあり、ドイツは鉄道やバスなど公共交通が月額1200円で乗り放題になる負担軽減策に乗り出した。同様の政策を始めた国は、オーストリアやニュージーランドなど複数ある。いずれも高まるリスクに対応するために鉄道を「生かす」考え方だ。

鉄道のあり方を社会全体のあり方の一環としてとらえている国には、公的財源で支える姿勢と仕組みがある。鉄道を道路などと同じ社会の資産と位置付けているということだ。一方の日本は、都市を中心に民間のビジネスモデルが確立できた成功体験ゆえに、地方路線にもサイサン性を求める風潮が強い。鉄道事業を民間に任せ、赤字・黒字で判断するのは主要先進国では日本だけという指摘もある。

④ 私はあえて、こう問いたい。鉄道を廃止するのは、JRをはじめとする運行企業ではなく、地域や社会で生きる私たち一人ひ

とりではないか、と。乗らない、生かさないといい選択をしているのは私たちであり、廃止はその積み重ねの結果だ。

人口減少という日本が直面する状況を考えれば、今後新しいものはつくりにくく、だからこそ今あるものを「生かす」という視点が欠かせない。単に「残す」のではなく、地域や社会の資産と位置付けて「生かす」――。その発想に立てば、鉄道の潜在的な価値はより多様に発揮できるはずだ。今回の地方路線のあり方をめぐる議論が、一企業の赤字問題に矮小化わいしょうされないことを願っている。

(田中輝美「地方季評」朝日新聞による)

問1 傍線部 a から e までの片仮名を漢字に直しなさい。

問2 傍線部①「数の論理で逆に廃止の根拠になってしまふ」とありますが、どういうことですか。本文の内容に即して具体的に説明しなさい。

問3 傍線部②「ではどうすればいいのか」とありますが、筆者自身はどのようにすればよいと考えていますか。日本での取り組みの例を踏まえながら説明しなさい。

問4 傍線部③「一企業や地域の努力だけでなんとかできる段階は過ぎ、今は社会全体で議論する段階に来ているのも確かだろう」について、筆者はどのような「議論」が必要と考えているのですか。日本と海外を比較しながら説明しなさい。

問5 傍線部④「私をあえて、こう問いたい」とありますが、なぜ筆者はこのような問い方をするのですか。筆者が「あえて」という言葉を用いた意図が分かるように説明しなさい。

二 次の文章は、『堤中納言物語』の一節です。新しい女と結婚した男によって、女(もとの妻)は家を追い出され、大原(京の郊外)にある知人の家に身を寄せることとなります。夜中、女を送って行った童(召使いの少年)から、女やその家の様子を聞いた男は驚き、女のもとに赴くという場面です。これを読んで、あとの問に答えなさい。

男、「明けぬさきに」^①とて、この童、^②併ともにて、いととく行き着きぬ。げに、いと小さくあばれたる家なり。見るより悲しくて、打ち叩たたけば、この女は来着きつきにしより、さらに泣き臥ふしたるほどにて、「誰たそ」と問はすれば、この男の声にて、
涙川なみかわそことも知らずつらき瀬せを行きかへりつつなかれ来きにけり

と言ふを、女、「いと思はずに似たる声かな」とまで、あさましようおほゆ。「開あけよ」と言へば、いとおほえなければ、開けて入れれば、臥したるところに寄り来て、泣く泣くおこたりに言へど、^④いらへをだにせで、泣くこと限りなし。

「さら⑤に聞こえやるべくもなし。いとかかるところは思はでこそ、出だしたてまつりつれ。かへりては、御心のいとつらくあさましきなり。よろづは、のどかに聞こえむ。夜の明けぬさきに」^⑥とて、かき抱いだきて馬うまにうち乗せて往いぬ。女、いとあさましく、いかに思ひなりぬるにかと、あきれて行き着きぬ。

(『堤中納言物語』はいずみより)

注 あばれたる―荒れている。 打ち叩けば―(戸を)叩くと。 涙川―この文章の前の箇所、女は童に向かつて「自分の行

く先は涙川です」という内容の和歌を詠み、男に伝えるよう頼んでいた。その歌の言葉を男が踏まえている。 瀬―川の

浅いところ。 浅瀬。ものごとに出会う場の意味もある。 あさましよう―予期せず驚いて。意外に。 おこたり―おわび。

謝罪。 あきれて―呆然ぼうぜんとして。

問6 傍線部①「いとく行き着きぬ」を現代語に訳しなさい。

問7 傍線部②「し」を文法的に説明しなさい。

問8 傍線部③「なかれ」は掛詞になっています。どのような語と語が掛けられているか、答えなさい。例えば、「はち」という語の場合、「鉢(はち)」と「恥(はぢ)」が掛けられる和歌があります。

問9 傍線部④「いらへをだにせで」を現代語に訳しなさい。

問10 傍線部⑤「聞こえ」は、敬語「聞こゆ」の未然形です。

- (a) 敬語の種類を答えなさい。
- (b) 誰から誰に対する敬意を表したものですか、答えなさい。

問11 傍線部⑥「かき抱きて馬にうち乗せて往ぬ」とありますが、これは男が女(もとの妻)を連れ帰ったという意味です。男がこのようなことをしたのはなぜですか、わかりやすく説明しなさい。

問12 傍線部⑦「いかに思ひなりぬるにか」とありますが、この時の女(もとの妻)の気持ちはどのようなものですか、わかりやすく説明しなさい。

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。なお、設問の都合で、返り点・送り仮名を省略した部分があります。

晋平公問^ニ於^テ祁黄羊曰、南陽無^シ令^①。其誰可而為^レ之[。]祁黄羊對^{ヘテ}曰、解狐可[。]平公曰、解狐非^ニ子^ノ之[。]讐邪[。]對^{ヘテ}曰、君問^レ可[。]非^レ問^ニ臣^ノ之[。]讐也[。]平公曰、善[。]遂用^レ之[。]国人称^ス善焉[。]居^ル有^リ間[。]平公又問^ニ祁黄羊曰、国無^シ尉[。]其誰可而為^レ之[。]對^{ヘテ}曰、午可[。]平公曰、午非^ニ子^ノ之[。]邪[。]對^{ヘテ}曰、君問^レ可[。]非^レ問^ニ臣^ノ之[。]邪[。]對^{ヘテ}曰、君問^レ可[。]非^レ問^ニ臣^ノ之[。]讐也[。]平公曰、善[。]遂用^レ之[。]国人称^ス善焉[。]居^ル有^リ間[。]平公又問^ニ祁黄羊曰、国無^シ尉[。]其誰可而為^レ之[。]對^{ヘテ}曰、午可[。]平公曰、午非^ニ子^ノ之[。]邪[。]對^{ヘテ}曰、君問^レ可[。]非^レ問^ニ臣^ノ之[。]讐也[。]平公曰、善[。]遂用^レ之[。]国人称^ス善焉[。]孔子聞^レ之[。]曰、善哉[。]祁黄羊之論也、外拳不^レ避^レ讐、内拳不^レ避^レ子[。]祁黄羊可^レ謂^レ **X** 矣[。]

〔呂氏春秋〕孟春紀・去私による

注

晋平公―春秋時代の晋国の君主。 祁黄羊―人名。晋国の要職に就いていた祁奚のこと。黄羊は字。 南陽―晋国の地名。現在の河南省済源市から獲嘉県に至る一帯を指す。 令―県の長官。 解狐―人名。 尉―軍事、刑罰を司る官。 午―人名。 祁午のこと。

- 問13 傍線部 a「対」、b「善」、c「哉」の読みを平仮名で記しなさい。
- 問14 傍線部①は「其れ誰か而て之を為むべき」と書き下します。これに従って返り点と送り仮名を加えなさい。
- 問15 傍線部②「午非子之子邪」を、すべて平仮名で書き下し文にし、現代語に訳しなさい。
- 問16 傍線部③「外拳不避讐、内拳不避子」を、「外拳」「内拳」の意味を明らかにしながら現代語に訳しなさい。
- 問17 **X** にあてはまる漢字を次の中から一つ選びなさい。

「讐」「子」「論」「公」「須」

問 5	問 4	問 3	問 2	問 1	
				d	a
				e	b
					c

受 験 番 号

小 計 1

問 12	問 11	問 10	問 9	問 8	問 7	問 6
		(a)		と		
		(b)		が掛けられている		
		から				
		に対する敬意				

小計 2

問 17	問 16	問 15	問 14	問 13
		(現代語訳)	其誰可而為之。	a
		(書き下し文)		(ヘテ)
				b
				(シト)
				c

小計 3

受験番号